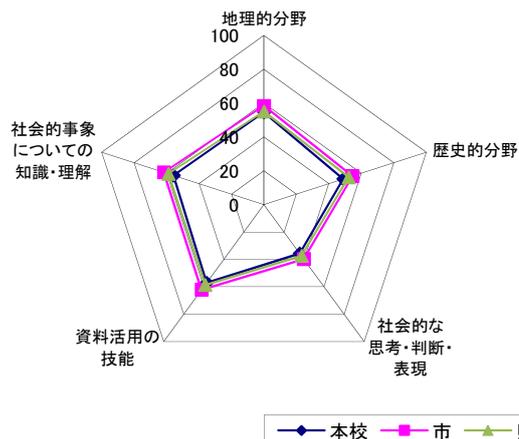


宇都宮市立田原中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	地理的分野	54.5	58.4	55.0
	歴史的分野	49.0	54.6	52.2
	社会的な思考・判断・表現	35.7	39.8	37.5
	資料活用 of 技能	57.1	62.3	58.7
	社会的な事象についての知識・理解	55.8	61.7	59.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>県と比べて本校の正答率は54.5%であり、0.5ポイント下回っている。</p> <p>○アメリカに関する個々問いの正答率は、県や市と比較して高かった。</p> <p>●地球の模式図の問題では正答率が60%以上あるものの、県と比較して7.2ポイント、市と比較して10.3ポイント低かった。また、正距方位図法を使った正しい方位を読み取る問題でも正答率が60%以上あるものの、県と比較して0.2ポイント、市と比較して5.5ポイント低かった。</p> <p>●複数の資料からアフリカの課題を考察する問題の正答率は20%以下であった。</p>	<p>地理的分野においては、資料を積極的に活用し、資料から読み取れることと、その原因や理由を考えさせることで、資料を読み取る能力と考察する能力を高めるようにする。</p>
歴史的分野	<p>県と比べて本校の正答率は49.0%であり、3.2ポイント下回っている。</p> <p>○縄文時代から古墳時代に関する問題の正答率は高かった。</p> <p>●中世（鎌倉時代から室町時代）に関する問題の正答率の大半が50%を下回っている。県や市の正答率から10%以上下回っている小問もあり、全体的に定着していない。</p> <p>●資料から考察する問題の正答率がかなり低い。</p>	<p>歴史的分野においては、基礎的基本的な歴史用語をきちんと確認するとともに、歴史的事象を資料から考察する能力を高めるために、授業で積極的に資料を取り上げ、その資料から読み取れることを考えさせ、まとめさせることで資料活用能力を高めさせる。</p>